

第1回埼玉県災害対策本部会議 本部長訓示

先ほども申し上げたが、キャビンに人がいる可能性がある中で、消防が搜索方法を検討するのと並行して、県として、土木的措置によりキャビンに可能な限りアクセスをし、救出する方法に移行する新たなフェーズに入った。

県においては、下水道管のバイパス工事並びに掘削を行うことで、一刻も早い救出を行うとともに、消防などが搜索に移る場合には、適切な環境を提供できるよう、可能な限り迅速な整備を進めていただきたい。

必要な工事が長期間にわたることから、工事現場周辺の住民の皆様にはご不便、あるいはご迷惑をおかけすることとなるが、引き続きご協力をいただきたい。

職員においては、国や市町村、消防、警察、ライフライン事業者だけではなく、あらゆる関係機関との連携を密にし、様々な側面から地域を支えることができるよう、ワンチームでの取り組みを求める。

重ねてにはなるが、本事故に伴い、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますとともに、被害の拡大防止やその影響の最小化に、県として全力を尽くしていく。

最後に、国土交通省、消防庁、自衛隊等の国や日本建設業連合会をはじめとする企業、団体の皆様のご協力に感謝をするとともに、県民の皆様には大変ご迷惑をおかけするが、引き続きのご理解、ご協力をよろしく願います。

以上。